

## 27年度施政方針要旨

# 将来の世代が希望を持てる 綾瀬市の姿を示します



笠間市長は、2月26日の定例市議会で27年度の市政に対する所信と主要施策を示しました。施政方針の全文は、市ホームページや市役所2階・情報公開コーナーで閲覧できます。

実します。また、超高齢社会に対応した介護予防などの高齢者対策のほか、子どもを産み、育てやすい環境を整えるといった少子化対策に取り組みます。

我が国の構造的な問題として、人口減少が大きな波紋を呼ぶ中、第3次安倍内閣では、地方創生の本格化が決意表明されました。

市の活力の源である産業の一層の活性化に向け、地場農産物や工業製品のブランド力の向上により、付加価値を高めるとともに、商業と観光の振興に力を入れます。

本市も、地域活力の向上により、都市としての持続可能性を確保すべく、将来を見据えた長期的な視野による独自の戦略を構築すること、将来の世代に向けて、希望の持てる綾瀬市の姿を示すことが27年度市政の要であり、私に課せられた使命です。

人を思いやり、社会を生き抜く力を身に付けた綾瀬の子どもを育てるために、学校教育を充実するとともに、市民が生きがいと誇りを持つて人生を歩むことができるよう、生涯学習施策を推進します。

そのため、今やらなければならないいけないものは、財政状況が厳しい中でも、時機を逃さず積極的に実施する一という視点に立ち、徹底した事業の選択と集中を行い、財源を配分しました。

低炭素社会の構築に向けて、二酸化炭素排出量削減の取り組みを進めるとともに、緑地と里山景観の保全や公園整備のほか、ごみの減量化にも、引き続き取り組みます。

人口減少・超高齢社会にあっても、将来を見据えた持続可能な綾瀬像を示すべく、人口動態を分析・推計し、しっかりと未来を見通した上で、地域活性化に向けた戦略を明らかにします。

引き続き総合的な防災対策の強化を図るとともに、特に災害情報などの提供手段の充実に努めます。このほか、長年の課題である基地対策に、継続して取り組みます。

行政改革と市民協働に継続して取り組み、来るべき人口減少社会においても持続可能な都市であり続ける、強固な綾瀬市をつくり

ます。

①元気の力  
生き生きと輝いた人生を過ごすために、健康寿命の延伸に向けた取り組みを充

②産業の力  
③教育文化の力  
④環境の力  
⑤安全・安心の力  
⑥プラス1の力

## 主な事業と予算額

### ①元気の力 (福祉、医療)

働く世代の健康づくりへの支援  
367万円

働く世代の健康づくりを推進するため、がんの集団検診(胃・大腸・肺)を年4回、日曜日に実施するほか、定期的な健診機会が少ない20~30歳代を対象に、健診キットの郵送による健康チェック事業を実施します。



放課後児童クラブ公設整備とあやせっ子ふれあいプラザとの連携  
2,525万円

放課後児童クラブを充実させるため、綾瀬・綾西小学校区に各1クラブを公設により整備し、校内で実施しているあやせっ子ふれあいプラザとの連携を進めます。落合小学校区は開設に向けて実施設計を行います。



### ②産業の力 (農・商・工業、観光)

市内企業の受注拡大への支援  
345万円

市内企業の取り引き拡大と収益力の向上を支援するため、独自技術などを広く発信する工業データベースの作成や、営業力を強化するためのホームページなどの製作を支援します。企業立地の認定を受けた企業が、立地関連工事などを市内企業に発注した場合、奨励加算金を交付します。

光・食・文化の祭典  
600万円

市民、商工業者などが実行委員となり開催する「光・食・文化の祭典~Ayase Base side Festival~」を支援します。5月30日、光綾公園野球場で緑化フェアと同日開催予定です。

### ③教育文化の力 (教育、文化、スポーツ)

小・中学生の学習時間の確保  
421万円

児童・生徒の学力を向上させるため、開校記念日に授業を実施するなど、授業時間数を増やし、学習時間を確保します。宿題型の家庭学習や、児童・生徒が自主的に課題を設定し学習する取り組みを進め、家庭学習の習慣化を図ります。



中学校少人数指導の完全実施  
1,035万円

生徒の学力を向上させるため、数学・英語教科の少人数授業を中学校の全学年に拡大し、個々に応じたきめ細やかな指導を行います。

### ④環境の力 (環境、みどり)

エコ事業による全防犯灯のLED化  
500万円

二酸化炭素排出量、維持管理費、電気料金を削減するため、市内の全ての防犯灯を蛍光灯からLED灯へ切り替えます。防犯灯の管理を自治会から包括的サービスを行う民間に移行し、省エネの促進と経費削減を図ります。

緑のネットワークの景観向上  
1,060万円

「緑と水のネットワーク」の景観を充実し、身近に自然と触れ合える環境をつくるため、緑のネットワーク上での桜の名所づくり(蟹ヶ谷公園周辺)や草花のある楽しく歩ける道づくり(比留川沿いの市民スポーツセンター前~芝原橋の約3km)に取り組みます。



### ⑤安全安心の力 (防災、防犯、消防)

防災気象情報サイト新設とメール配信サービス  
65万円

災害時の市民への迅速で確実な情報提供や自主避難行動の支援を充実させるため、防災気象情報サイトを新設するとともに、各種気象注意報・警報などを発表と同時に市民へメール配信するサービスを構築します。

河川などの浸水対策  
1億7,647万円

集中豪雨などによる自然災害から市民の生活を守るため、浸水対策を進めます。事業期間は25~29年度で、小園地区(バイパス管工事)、落合北地区(基本・詳細設計)、蓼川地区(基本設計)の3カ所で行います。

### ⑥プラス1の力 (行革、協働)

行政改革の推進

第3期あやせ集中改革プラン(25~27年度)を着実に実行し、成果志向の行政経営への移行を推進します。ネーミングライツ制度や文化会館などへの指定管理者制度を導入します。